熊歯会報

1
2011

Kumashi Kaihou

2011年1月15日
No.657

熊本県歯科医師会

熊歯会報 1月号

2011

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

―表紙に寄せて―

今年は、兎年。世の中の景気もそうですが、私たちもうさぎの様にピョンと飛躍したいものです。　（H.K）

もくじ

年頭所感（会長　浦田 健二）…… 3

理事会 …… 4・5

年頭所感（日歯会長　大久保 満男）…… 6

郡市会長　新年を迎えての一言 …… 7～12

委員会だより
（学術・厚生管理・社保）…… 13～19

年男年女 …… 20～26

郡市会だより
（宇土、阿蘇、菊池、水俣・芦北、荒尾）…… 27～29

つどい …… 30

会長の動静 …… 31

会務報告 …… 31～33

年頭所感

熊本県歯科医師会会長　浦　田　健　二

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年も、公私ともに色々とお世話に成り、誠に有難うございました、心より感謝申し上げます。

さて、１年を振り返りますと、歯科医師会にとりまして、「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が制定、施行されました事は特筆すべきことでありましたし、６カ月という短期間で制定して頂き、県並びに県議会の皆様には改めまして、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

この条例に拠りまして、県民のすべてのライフステージにおける歯科保健の推進が進められる、という根拠が作られたと認識いたしております。さらに歯科医師等の役割が明確に謳われておりますので、歯科医師、歯科医師会は、益々良質な歯科医療の提供、歯及び口腔の健康づくりに関する施策並びに保健サービスに協力する様努めなければならない責務がある、ということに成りました。

我々歯科医師会は、日頃より日歯大久保会長の言われる歯科医療とは、「生きる力を支える生活の医療」であるとの定義に従って、事業を進めて参りましたが、条例にもこのことを押し進めるよう謳われたと思っておりますので、今まで以上に自信を持って進めて参りたいと思います。しかしその実現には会員の皆様の協力が不可欠ですので、是非御協力宜しくお願い致します。

今年は卯年ですので、昨年より高いところを目標にしてジャンプしたいものですが、現状の日本を見ると明るい話題がなく、跳ぶ前に足場が崩れてしまいそうで心配で成りません。しかし立ち止っている訳にはいきませんので、前を向いて一歩一歩進んで行くにはと、思い悩んでおりました時に、ふとある言葉を思い出しました。計画を立てる時には「ペシミスト」で、実行する時には「オプティミスト」で、という言葉です。

計画を立てる時には、慎重にも慎重を重ねるが一旦立てた計画を実行する時には、思い悩まずに進めて行くという事ですが、他の三通りを考えてみてください、

１、オプティミストな計画をオプティミストに実行。　　甘い計画を甘く実行

２、オプティミストな計画をペシミストに実行。　　甘い計画を悲観的に実行

３、ペシミストな計画をペシミストに実行。　　厳しい計画を悲観的に実行

どの組み合わせも、悲惨な結果に成るような気がします、今年１年慎重な計画を立て、楽天的に実行していきたいと思います。

最後に成りますが、この１年が歯科医師会にとっても皆様にとっても良い年であることを祈念して、新年の御挨拶といたします。

理事会報告

尊敬される団体をめざして

― 第９回理事会 ―

12月27日（月）午後５時より県歯会館第１会議室において浦田会長他全役員出席のもと議長を浦田会長、議事録署名人を田上、松岡理事として第９回理事会が開催された。
開　会：小島副会長

会長挨拶要旨

本会にとって大きな出来事としては「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が制定、施行されたことがあげられるかと思います。しかし、この条例は制定されただけで、条例の内容を支援する準備は未だ整っているとは言えません。会員への周知、そして、本会、或いは関連部署による各所への支援体勢については、来年の課題になるかと思います。

司馬遼太郎氏の著書「坂の上の雲」がドラマ化され放映されています。このことに関連して「坂の上のヤポーニア」という、100年ほど前に出版された、リトアニアの青年による「日本論」の著書があります。バルト三国の一つであるリトアニアは当時、隣国の大国ロシアに併合され、苦しめられることが多かったのですが、極東の小国であった日本はこの強大なロシアを相手に互角以上に戦いました。かつて西欧の列強に追いつこうと「坂の上の雲」を目指し、はるか極東で躍進していた日本は、他国から目標とされ、尊敬されるような国であり、このリトアニアにとっての「坂の上の雲」が日本であったとのことでした。我々は、この時代に躍動していた先人たちの遺伝子を受け継いでいるのですから、そのことに誇りをもち、日本を再び尊敬されるような国にしていかねばならないと思いますし、我々歯科医師会も県民の皆様に尊敬されるような団体にならければならないと思います。その様なことを来年の目標として、会務に取り組んで参りたいと思っています。

今年一年、本当にお疲れ様でした。

報　告

総　　務：第８回理事会、第17回・18回常務理事会、学齢期歯科保健指導者講習会、第２回各郡市会長・専務理事連絡会、第９回選挙管理委員会、第10回日歯理事会、日歯役員勉強会、第８回日歯対外ＰＲ小委員会、第７回日歯ホームページ企画小委員会、第７回日歯対内広報小委員会
学　　術：県糖尿病対策推進会議実務者研修会、日本補綴歯科学会、口腔医学国際シンポジウム、日歯生涯研修ＤＶＤセミナー及びＣＴ撮影に関する研修会
社会保険：保険個別指導、個別相談会、電子レセプト請求届出手続き説明会
地域保健：県健康づくり県民会議、笑顔ヘルＣキャンペーン（八代）
厚生管理：県三師会剣道大会

広　　報：「熊歯会報」12月号校正、１月号編集
学校歯科：県健康教育推進学校表彰審査会、県PTA災害見舞金安全会判定審査会、第８回日学歯理事会
医療対策：医療トラブル講演会、医療相談報告
センター・介護：口腔保健センター運営打合せ、県介護実習・普及センター運営委員会並びに介護機器普及事業運営協議会、介護者歯科実技研修会
学　　院：歯科衛生士養成校検討会、秋季学術研修会（第１回日本歯科衛生教育学会）、学院臨地実習指導担当者打合会、学院解剖見学実習
国　　保：第５回国保理事会、全協九州支部事務研修会、熊本県組合地区国保運営協議会役員研修会
事 業 課：損保ジャパンとの打合せ、損保ジャパン熊本支店役員との懇談会

以上、11月19日から12月21日までの総務、各委員会他の動きについて、浦田会長及び担当各役員より報告がなされた。

報　告その２

１．日歯報告

・指導監査に関する検討会
政府に指導監査に関する検討会を要望していたが、今回はコンタクトレンズの指導に関するコンプライアンスの件が議論された。そのため、指導監査の検討について、厚労省改革の中で現在は廃止されている指導医療官への監査体制として、新たに監査室を設けるということが決まっているが、それは内部監査のみではなく、外部からの意見

も容れられる体制となるように要望している。

2．退会会員

・松永桜子会員（一般／鹿本郡市）
11月30日付

3．職員人事

・総務課　河内奈々（学校歯科委員会担当）
入枝順子（公益法人会計部門担当）
【いずれも平成23年１月１日付】

4．名義後援使用及びチラシの送付依頼

・日本医療マネジメント学会第13回熊本支部学術集会／日本医療マネジメント学会
・第56回熊本有病者歯科医療研究会・講演会／熊本有病者歯科医療研究会
・地デジボランティア活動／総務省熊本県テレビ受信者支援センター

5．通常代議員会・総会の議案の字句の修正

通常代議員会・総会の議案の字句について下記のとおり修正する。

（旧）一般社団・公益社団の選択決定の承認を求める件
↓
（新）一般社団法人・公益社団法人移行の選択決定の承認を求める件

6．医療倫理に関する会員への通知

ニュースレターへの医療苦情、相談事例の紹介について、当該歯科医師が患者を断定するという事例が発生し問題となったことを受けて、12月15日付で全会員へ通知文書を発送したことが報告された。

7．委員会事業企画

・医療対策委員会
○「大規模震災時における歯科医療支援及び戦闘機飛行時の歯科医学的諸問題について」
・開催日：平成23年３月26日（土）
・学術委員会
○「松風歯科クラブ共催学術講演会」
・開催予定日：平成23年５月29日（日）午前10時～午後３時
○「歯周病と全身疾患説明用パネル及び検査値一覧表パネル」の作成

8．委員会事業報告

・厚生・管理委員会
○「未就業歯科衛生士のためのリカバリー研修会」
・実施日：（第１回）
平成22年７月31日～８月１日
（第２回）
平成22年10月30日～31日
・学術委員会
○「歯科衛生士卒後研修会」
・実施日：（第１回）平成22年11月14日

9．各会計11月現況

10．１月行事予定

11．その他

○支払基金の歯冠の査定　（中嶋副会長）

協　議

1．平成23年度各委員会事業計画並びに予算（案）（承認）
原案通り承認した。

2．平成22年度介護者歯科実技研修事業会計収入支出予算（案）（承認）
原案通り承認した。

3．平成22年度一般会計収入支出補正予算（案）（承認）
原案通り承認した。

4．平成23年度会費及び負担金の賦課額・賦課率並びに徴収方法（案）（承認）
原案通り承認した。

5．坂本嘱託弁護士との契約（承認）

顧問弁護士との顧問契約が年度末に終了することに伴い、現行弁護士と再契約をせず見直すこととした。また、後任弁護士の人選については、会長に一任することとした。

6．口腔保健センターにおける事故・苦情発生時対応マニュアル（承認）

先般口腔保健センターで起きた事例を反省し、改善策として口腔保健センター、及び歯科衛生士学院実習時の事故発生対応マニュアル、フローチャートを作成し、有事の際はそれらに基づき対応することとした。

7．熊本県歯科医師会会費・負担金減免申請（承認）
原案通り承認した。

8．診療所全焼に伴う火災給付申請（承認）
①火災給付（２件・30万円×２名＝60万円）
②火災・災害休業給付
（１日あたり1,000円×60日×２名＝12万円）
火災給付申請に伴い、計72万円を支給することとした。

9．九地連協議会の提出協議題（承認）

九地連協議会の提出協議題について、協議題（案）がある場合は、１月７日までに、専務理事まで連絡することとした。

10．中規模県歯科医師会連合会の提出協議題（承認）

中規模県歯科医師会連合会の提出協議題について、協議題（案）がある場合は、１月７日までに、専務理事まで連絡することとした。

11．就業規則等の一部改正並びに関連規程の設置（承認）

原案通り承認した。なお、セクハラ規定については、改めて提出することとした。

12．その他

○熊日紙上への歯科コラムの掲載（加藤理事）
歯科コラムの熊日新聞・夕刊への掲載について、同朝刊への掲載が可能かどうか、引き続き熊日新聞社と協議することとした。

監事講評：片山監事、遠山監事
閉　会：中嶋副会長

（広報　加藤　久雄）

年頭所感

日本歯科医師会会長　大久保　満男

皆様方におかれましては、健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げますとともに、昨年のご厚情に深く感謝申し上げます。

しかし、我が国の現状は、新年を寿ぐだけでは済ませられない程に厳しい状況に置かれ続けております。

政治的には、政権交代による社会保障抑制策から強い社会保障への政策転換が打ち出されましたが、リーマンショック以後の不況から抜け出すことが未だできず、社会保障費の財源をどこに求めるのかの解決策は未だ結論が出ておりません。さらに社会的には、我が国は世界のどの国もかつて経験したことのないすさまじい速度で高齢社会へ向かっています。これは、いわゆる団塊の世代が75歳を迎える2030年頃まで続き、さらに従来の地方に起きる現象ではなく、大都市において起こります。孤独な高齢夫婦の世帯や一人きりの高齢者の急増が大都市で進むことが、社会にどのような事態をもたらすのか、厳しい現実が突き付けられると想像します。

何か新年から暗い話をしているようですが、そうではなく、この現実をどのように乗り越えられるのか、政府と国民がどのように知恵を出し合えるのかに、我が国の将来がかかっており、仮にこれを見事に克服できた場合、我が国も決して捨てたものではないという評価が出てくると、私は思っています。

そしてその時、具体的な政策の中心に、我が歯科保健と歯科医療が必ず位置付けられるでしょうし、また、位置付けられねばなりませんが、近年の歯科に関する調査やデータがその可能性を強く示唆しています。例えば、最新の国民健康・栄養調査によれば、8020達成者（75歳～84歳）は26.8％で、歯石除去や健診受診者も増加し、国民の歯の健康への関心が高まっていると厚生労働省はコメントしています。

近年の日歯が主催する歯と口に関するシンポジウムには、常に会場の定員を超える参加希望がありますし、さらに「生きがいを支える国民歯科会議」のシンポジウムも「食べる、生きる、幸せ噛みしめる」という抽象的なテーマにもかかわらず、定員の３倍近い参加希望がありました。

このような歯科医療や歯科保健への期待は、「最期まで口から食べることが人間の尊厳を根本から守る」という我々の主張が広く受け入れられてきたことの証だと思います。しかし同時に、このような状況は、我々の責務が国民から問われているということでもあり、その期待に応えることが、歯科医療の新たな明日を築くことになると思い、新年に当たり皆様方と覚悟を新たにしたいと存じます。

この１年が、歯科界にとっても皆様方にとっても希望に満ちた年であることを祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

郡市会長　新年を迎えての一言

熊本市　サーカスの象と歯科医師会

会長　清村　正弥

象は巨大でとても力持ちです。なので、捕えた野生の象を杭に繋いでも、よほど頑強な鎖で強固な固定源に結合しない限り、象は暴れて逃げ出します。ところがサーカスの象は、成熟後もそれほど太い鎖でつないだりはしないのに、逃亡するようなことはありません。幼獣の時分から鎖に繋がれているため、自分は決してそこから逃げることができない、と信じ込んでいるからだそうです。歯科医師会員の大半は、高校卒業後、歯学部に入学することが決まった時点で、自分の将来像を歯科医師に固定なさったのではないでしょうか。でも、同時にそこにおいてその像は、細いけれど外すことのできない（と思い込んでいる）不可視の鎖で「何か」に繋がれてしまい、今に至ってもまだそれが続いている可能性はないでしょうか。日本の閉塞した状況は、「失われた10年」どころか20年以上続いています。今年成人式を迎えた若者たちは、生まれてこの方、「この社会」しか見たことがないのです。そしてその20年間、私たちは、誰かを何かを頼れば、閉塞した政治・財政・医政・経済や国際関係を改善してくれるはずだと、他力本願で頼っては裏切られ、別のご本尊にすげ替えてはこんなはずではなかった、と悔やむことの繰り返しでした。だけども、20年も経ったのですから、もうこれ以上同じことの繰り返しは不要でしょう。このまま落ちて行く一方で良いはずがありません。狭い歯科の世界だけでも力を合わせ、みんなで「象」になりましょう。野生の象に変じたならば、鎖をブッ千切ることなど簡単です。

宇土郡市　何ができるか、何をなすべきか

会長　中村　　進

皆様明けましておめでとうございます。

新しい年が明けましたが私達歯科界にとりましてはまだまだ大変厳しく、不安な日々が続くことが予測されます。何とかこの事態を少しでも改善させるためにも、まずは政局が安定することを望んでいます。このままでは官僚の描いたシナリオに現場は振り回され余計な労力と神経を使うばかりです。さて私も会長職を拝命してから２年近くが経過しようとしていますが、この厳しい状況下にあって会が会員のために何をすることができるのか、あるいは何をなすべきなのか考えてみました。

まず会員である歯科医師の活動の場を堅持し、そして拡大していくということでしょうか。各々

が研鑽を積み患者獲得のために努力することはもちろんですが、診療所以外での仕事、例えば校医を含む嘱託医の確保、また介護の現場における役割の拡大であり、そして地域における歯科医師としての多様な役割を見いだしていくことなどです。そのためには行政側から必要とされる会議に積極的に参加し、密に連携をはかっていくことが大切であると思います。そう考えるとできるだけ近い将来、行政と歯科医師会の区割りのねじれを解消させるように考えていく必要があると思います。次に各会員の仕事上の不安を少しでも軽減させるということです。その中の１つを具体的に述べると、最近は来院される患者さんが様々な薬剤を服用しており、その中には我々が治療をするうえで注意を要するものが多々あります。そのような情報を的確に把握するためにも医科や薬科とのさらなる連携の重要性がますます増してきています。日頃から他科との交流をすすめることによってよりスムースな連携をはかることができ、そのことが患者さん一人一人にとってより安心安全な医療の提供につながることになると思います。

以上、思いのままをつづりましたが、一歩でもこれらのことに近づくことができるよう努力をしてまいりたいと思っています。

鹿本郡市

新歯科医師会の活動に向けて

会長　原賀　滋久

新年おめでとうございます。先生方におかれましては、お健やかに新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、植木町と熊本市の合併に伴い、本年４月１日から旧植木町の会員が熊本市歯科医師会へ移管することが決まり、80年近くの歴史を持つ鹿本郡市歯科医師会が解散し、山鹿市歯科医師会設立という苦渋の選択を迫られた年でありました。旧植木町会員が熊本市会員として活躍されることと、残された山鹿市会員が一丸となって会務に精励し、充実した会の運営と発展ができることを願っています。

本会では、植木町が山鹿市と合併をしなかった頃から、この様な状況になる可能性を想定した会務が行われ、まず、会員診療所へのＡＥＤ設置や会費の大幅値下げ等の準備を行うとともに、所轄官庁との協議を行い、ようやく社団法人の解散が認められ、財産も含め新歯科医師会へ移管できました。新歯科医師会設立が出来ていたおかげで、合併から１年で、そのスムーズな解散が出来たと思っています。会の運営は「順調な運営がなされている時にこそ、評価や見直しを行い、組織改革を行うという勇気を持つこと」が大切だと、改めて実感いたしました。

また、昨年は「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が制定され、保育園、幼稚園、小中学校でのフッ化物洗口の実施が一段と加速され、齲蝕に関しては全国最低レベル状況が、近い将来改善されるものと期待しています。それに伴い、今後は歯科医師会として、また会員として地域の保健関係者や教育関係者と連携を密にして、施策の推進を図ることが求められてきます。

残された任期中、歯科医師会解散や条例に対応した健康づくりに向けた準備を怠りなく進めていく所存です。ご理解、ご指導を宜しくお願いいたします。

年頭にあたりまして、先生方のご多幸とご発展を祈念申し上げます。

上益城郡

「和」をモットーに活動を

会長　江藤　寛文

明けましておめでとうございます。せっかくの機会ですので、上益城郡歯科医師会の主な事業のご紹介をしたいと思います。まず、毎年６月ごろに臨時総会を行います。例年、土日を利用して旅行を行いますが、今年は７月に韓国釜山に一泊二日で出かけ、釜山市内や慶州の観光、韓国名物料理などを楽しみました。また、８月には家族従業員のレクレーションをサントリービール公園で行います。毎年100名以上の参加があり、郡のデンタルファミリーが一堂に会して地ビールとバーベキューに舌鼓を打ち、ビンゴゲームなどで楽しむ好評の事業です。秋には郡医師会・薬剤師会と合同で三師会研修会・懇親会を行い、地域での医療連携の推進や医療従事者同士の情報交換の場となっています。

一方、６月の歯の衛生週間での無料健診や11月の嘉島町での笑顔ヘルＣキャンペーンにおける歯の健康相談イベントでは、郡内各会員のご協力で参加者も多く、郡の行事として定着して来ています。他に、宇城三郡市合同学術講演会・懇親会を毎年持ち回りで開催し、近隣地区の下益城・宇土郡市との交流を深めています。それから会の広報誌として、上歯会報を年一回発行しています。今年は通巻第７号となりますが、郡の事業内容や会員の投稿記事などの掲載が在り、貴重な資料となっています。そのほか、毎月一回の例会では、時期に応じた社保研修会やビデオ研修などを行うとともに、会員の情報の提供・交換の場として役立っています。ほかにも忘年会や総会などがありますが、上益城郡は伝統的にこのような事業を通じて会員同士の密なつながりを図り、「和」をモットーに年間事業を行っています。

下益城郡

城南町会員の
熊本市移管にあたって思うこと

会長　大久保　和之

平成22年を振り返ってみると、下益城郡歯科医師会にとって最も大きな出来事は、何といっても３月23日の城南町と熊本市の合併であった。当初はしばらく静観していたが、行政と歯科医師会との区分が異なると色々なことで不都合が生じ、城南町の会員にとって不利益になると判断し、やむなく熊本市への移管を決断した。11月15 日県歯会館にて、熊本市歯科医師会会長との覚え書きに調印する運びとなった。これをもって、平成23年４月１日より城南町の会員６名は、熊本市歯科医師会会員となる。よって、下益城郡歯科医師会は会員数20名となり、今後、県歯科医師会の要職に就いている会員や高齢者の会員を除いた中での会の役員選出及び運営は、困難になることが予想される。

積極的に会に出席し運営に協力する会員の減少や、市町村合併による行政と歯科医師会との区分が異なるという問題は、我々の会だけでなく、他の郡市でも起こっている問題ではないかと思われる。長年の課題である未入会者への勧誘は、努力はしているが功を奏していない。さりとて

県歯科医師会が盛んに提案する入会金の大幅な減額は、その主旨は理解できるが、現実には様々な問題があり難しい状況である。また、市町村合併により以前の下益城郡は、美里町を残し宇城市となった。宇城市には、下益城郡と宇土郡市歯科医師会両方の会員が含まれており、市の保健事業が繁雑となり不都合が生じている。今後郡市歯科医師会は、その地域の行政とより一層密接な関係を保つことが必要とされる。そのためには、歯科医師会の再編も真剣に考えなくてはならない時期が来ているのではないかと思われる。

水俣・芦北郡市

任期期間を振り返って
―新型インフルエンザ―

会長　若江　秀敏

新年あけましておめでとうございます。平成23年の新たな年をお迎えになられましたこと謹んで新春のお慶び申し上げます。

水俣・芦北郡市歯科医師会の任期も残り９ヶ月となりました。任期期間中を振り返ってみますと、先ず、感じましたことは郡市歯科医師会の会務の事など、何にも解らない私が会長をお引き受けして以来、各理事の先生方を困らせ、さらには会員の皆様方に大変、ご迷惑をお掛けしましたことが頭に浮かびます。その他、社会的に目を向けてみますと、昨年４月、新型インフルエンザの流行から始まり、民主党の新政権の誕生、今年は景気低迷下の円高、宮崎県での口蹄疫、沖縄県尖閣諸島沖で中国漁船と海上保安庁の巡視船との衝突および衝突映像の流出、北朝鮮軍による韓国領土（ヨンピヨン島）への砲撃など激動な年だったと思います。一方、喜ばしいことは診療報酬改定に伴って、下がり続けていた歯科診療報酬のアップ、鈴木　章、根岸英一両先生のノーベル化学賞の受賞などが揚げられます。会長になっての最初の仕事が新型インフルエンザの流行でした。この事項について述べてみます。昨年４月、メキシコから発症した新型インフルエンザ（Ｈ１Ｎ１型）が世界的に大流行し、４月にＷＨＯがフェーズ５宣言、日本においては、直ちに検疫での水際対策が施行されましたが、５月に国内で初の患者を確認、６月に本県内で初の患者が確認されています。９月末から感染が広大、11月中旬にピークを迎えた後、減少傾向に転じ、３月に沈静化しました。本県での患者数は約34万人と推計されています。流行した新型インフルエンザ（Ｈ１Ｎ１型）が弱毒性であり、早期に種々な対策を行った結果、急激な感染拡大を防止したものと考えます。今年は季節性インフルエンザ（Ａ香港型）の流行で、12月まで大流行を認めませんが、これから流行し始めるものと予想されています。一方、渡り島の季節に伴って、10月に北海道においてカモシカのフンから高病性鳥インフルエンザウイルス（Ｈ５Ｎ１型）が検出されたと発表されました。11月末、島根県安芸市の養鶏場でウイルス（Ｈ５Ｎ１型）を確認、12月18日島根県米子市でコハクチョウからウイルス（Ｈ５Ｎ１型）が検出され、さらに12月21日鹿児島県出水市のナベズルから検出された高病性鳥インフルエンザウイルス（Ｈ５Ｎ１型）が強毒性だったと発表されました。北海道から鹿児島まで検出された一連の高病性鳥インフルエンザウイルス（Ｈ５Ｎ１型）の遺伝子配列が酷似しており、渡り鳥が南下して感染が広がったと推測されます。感染した野鳥が日本の各地域に飛来する可能性が考えられ、十分な観察と強力な対策が必要と思います。この鳥インフルエンザウイルス（Ｈ５Ｎ１型）は新型インフルエンザの原因となる可能性が高く、パンデミックを起こす危険性があるウイルスとして世界的に問題となっています。一般的にインフルエンザウイルスに感染し、発症すると突然「38℃以上の

発熱」、それに伴って「頭痛、関節痛、筋肉痛、咽頭通」などの全身症状が現れます。歯科診療所に「喉が痛い」と訴えて受診される患者に対して、私たち歯科医師は口腔内をのぞき込んで観察します。感染部位と考えられる軟口蓋から咽頭粘膜に、エンテロウイルスによる感染（ヘルプアンギーナ）のような発赤、多発性の小水疱、小潰瘍など、何らかの臨床症状が発現するようであれば、私たち歯科医師も確定診断の１助になるものと思っているところです。(独り言)。私たち歯科医師は医療現場における飛沫感染、口腔内での削合手技によるエアロゾル発生における飛沫核による空気感染によって、インフルエンザに罹患しやすい環境下にいると云っても過言ではありません。インフルエンザ感染の予防対策は新型インフルエンザであろうとも、季節性のインフルエンザの予防対策が基本となっています。最後に、個人レベルでの予防対策は、まず、ワクチンの接種が大切です。健康な成人の場合、発症を60～90%減らし、高齢者、乳幼児が発症した場合、重症化を防ぐ効果があると云われています。その他、感染のリスク要因をへらすこと、すなはち、マスクの着用、手袋の着用、外出先から帰ったときの手洗い、含嗽など冬季の健康管理を十分にしておくこと、また、十分な睡眠と栄養バランスのよい食事をとって免疫力を高めておくことが感染を予防する上で重要なことと、そして大流行（パンデミック）が起こっても慌てない心構えを整えておくことが必要と思います。

人吉市

昨年を振り返って

会長　今藤　隆文

あけましておめでとうございます。

昨年は各郡市歯科医師会会員の先生方には県歯への出務、各種行事、事業と多忙な一年であったことと推察致します。人吉市歯科医師会会員の昨年は、４月全国健康福祉祭（ねんリンピック）設立総会会議に始まり、６月の歯の衛生週間、８月の人吉球磨合同学術講演会、９月に熊本県総合防災訓練、早産予防対策モデル事業開始、人吉市健康福祉祭り、11月に歯周疾患健診、球磨地域糖尿病対策連携会議、学齢期歯科保健指導者講習会、また県歯への出務等と多忙な一年でした。毎年行なっている歯周疾患健診は、歯周病が糖尿病に影響を与えるということがメディア等で報道されることもあり少しずつではありますが健診者も増えつつあるようです。人吉球磨地域は、糖尿病予備軍や治療者数が県より高率である為、少しでも歯周疾患健診を通して、内科医との連携により糖尿病の重症化を防げることに繋がればと思っています。また、人吉球磨地域の妊婦の早産率が高いこともあり、天草に続き早産予防対策モデル事業として産婦人科医と連携を取り、早産予防の妊婦歯科健診が９月より始まりました。歯科健診により若い女性が口腔ケアの大切さを認識して早産が少しでも減少することを期待しています。

昨年で４年になるお口の健康教室は、介護予防を目的として特定高齢者を対象に歯科健診・講話・お口の健康体操などを行っています。年々参加者も増え歯科と介護予防に関する認識が変わってきているようです。これからは糖尿病の治療、早産予防、介護予防など、口腔が全身の一器官として医科との連携を保ち、歯科治療を行っていく機会が増えていきそうです。しかしまだまだ医科との連携のハードルは高そうですが少しでも前に進めればと思っています。私の任期は残り数ヶ月ですが、これからも人吉市歯科医師会及び会員をよろしくお願いします。

球磨郡

課題をひとつずつ解決

会長　秋山　　喬

明けましておめでとうございます。早いもので会長の大役を受けてあっという間に２年近くが過ぎようとしています。歯科医師会の理事として会計、副会長、専務理事と役目を務めついに会長となった時は重責を感じ２年間何をどうやればいいのか？会員とうまくやっていけるか？など不安いっぱいのスタートでした。幸い15名の県内最小の歯科医師会ですが、皆協力的で仲が良く会員の協力なくして会長職は遂行出来ないと痛感いたしました。

昨年は定款の改正協議、老健施設の無料歯科健診、学術講演会、人吉球磨臨床研修会、沖縄への研修慰安旅行など各担当理事を中心に会員全員が協力のもと行いました。特に無料歯科健診では今までは健康な8020の老人や健診希望の親子などを対象に行っていましたが昨年度から、社会的弱者、健診を受ける機会の少ない施設入所老人などに目をむけようという理念のもと老健施設の健診を行いました。結果は予想以上のもので老人、特に寝たきり老人の口腔清掃状態の不良に驚嘆し、この分野への介入の必要性を痛感いたしました。今年度も３月に実施予定です。

今年も法人化の問題、未入会者対策、定款の完成、人吉市歯科医師会との合併問題など課題は山積みですが会員協力のもとひとつずつ解決していくつもりです。昨今の厳しい歯科環境の中、各自の診療時間を割いて会に協力してくれる会員に感謝しつつ会員の健康と病院力のアップを切望し、会長として切磋琢磨していく次第です。

皆さん今年もよろしく（＾o＾）／！！

お知らせ

広報委員会からのお知らせ

今月より毎週金曜日、熊日新聞の朝刊に歯科に関するコラムが無料掲載されることになりました。ぜひご覧ください。テーマは、各委員会で絞り患者目線のわかりやすい内容としていくつもりです。県民の皆様の「歯の健康」への啓発となることを願います。

■掲載面　「くらし面」（主に医療・福祉分野）
■掲載日　下記の計12回（毎週金曜日）
　　１月７日・14日・21日・28日
　　２月４日・11日・18日・25日
　　３月４日・11日・18日・25日

BP製剤服用中患者への対応

― BP製剤と顎骨壊死に関する講演会 ―

学術委員会

10月28日（木）ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死に関する講演会が、県歯会館４Ｆ大ホールにて午後７時30分より前野正春副会長の開会の挨拶により開催された。今回の講演者は公立玉名中央病院　中野哲雄院長（日本骨粗鬆学会評議員）、上田歯科医院　上田忠院長（八代歯科医師会会員）であった。近年、骨粗鬆症や悪性腫瘍の骨転移、高カルシウム血症、多発性骨髄腫に広く用いられるBP系製剤による副作用で顎骨壊死を起こすことが報告されている。このことは顎口腔系を扱う我々歯科医師にとって大きな問題になることがある。日常の診療において抜歯等の外科処置を行う必要がある場合、何らかの事情でBP剤の服用をされている為、外科処置を躊躇せざるをえない場合がある。

今回の講演会は臨床上すぐに役立つことであり、平日の診療後にもかかわらず約150名の参加者があり、熱心に聴講していた。

始めに上田会員により『ビスフォスフォネート製剤での顎骨壊死』の演題で講演があり、上田歯科医院におけるBP製剤服用患者（H20年４月～H22年９月30日　84例）についての実際に経験された臨床的な話であった。

BRONJの発生頻度

海外での報告
注射薬……10万人あたり約95件（１年間服用）
経口薬……10万人あたり数件
（米国口腔外科学会、欧州骨粗鬆症WG等の調査）

BRONJの現状

欧米での顎骨壊死の発症割合は経口薬が１％前後だが、国内に於いては経口約が26.7％～56.5％との報告がある。この数値の違いには、我が国での注射薬の承認の遅さや、骨粗鬆症患者への経口薬の投与の多さが関わっている。

BRONJの症状

症状としては、疼痛と感染を伴う持続性の骨露出、しびれ、歯肉の腫脹、排膿、歯牙の動揺が一般的で、まれに疼痛を伴わず、無症状の場合もあり、抜歯や歯周治療を契機に発症することが多く、下顎骨に２／３、上顎骨に１／３の割合で発生することが多く症状が進行すると、疼痛・感染の増悪・病的骨折・皮膚瘻孔の形成が起こる。

BRONJの予防（日本口腔外科学会2008年）

BP剤治療開始前の留意点
- 感染源を減らすため、抜歯、歯周治療、根管治療、義歯などの歯科治療は前もって行う。
- 侵襲の大きい歯科インプラントや完全埋伏歯の抜歯は避ける。
- 不完全埋伏歯や被覆粘膜の薄い骨隆起は除去し、１ヶ月の骨治癒期間を設ける。
- 歯科治療終了まで、BP製剤投与を延期するよう処方医と相談する。

BP剤治療中の留意点

- 骨露出の有無のチェックとＸ線検査を３ヶ月毎に行う。
- 口腔内清掃をし、顎骨に侵襲が及ぶ口腔外科処置は極力避ける。
- 軽度の動揺歯は固定し、膿瘍を伴う高度の動揺歯は抜歯し抗菌剤を投与する。
- 義歯治療は可能だが、過剰な圧に留意する。

BP剤治療中の留意点（口腔外科処置の際）

経口薬の場合、服用期間が３年以上（ステロイド併用の場合は３年未満でも）なら、処方医と相談の上、少なくとも処置前３ヶ月間の休薬期間を設け、処置後の骨の治癒傾向が認められるまで再開しない。

服用期間が３年未満で、後述のリスクがなければ、通常の処置を行う。

臨床経験を基に解説する上田会員

発生や増悪のリスクファクター

コルチコステロイド療法
ホルモン療法
糖尿病
悪性腫瘍の化学療法
喫煙・飲酒
口腔衛生状態不良
高齢者（65歳以上）

BRONJの治療

●疼痛抑制を行う。
●骨露出の拡大・二次感染を防ぐため、抗菌薬の長期投与と0.12%クロルヘキシジンやポピドンヨードによる洗浄を行う。
●病的骨折や皮膚瘻孔形成がある重症例に限り、顎骨切除を行う事もある。

次に、公立玉名中央病院　中野哲雄院長により『ビスフォスフォネートの功罪』整形外科医としての立場から見たBP剤の使用効果について話があった。

BP剤は主に骨粗鬆症の治療薬として1995年より使用されてきたが2000年あたりから急激に使用頻度が増え、今現在増え続けている現状にある。米国によるデータによれば1996～2000までの５年間の調査で大腿骨頸部・転子部骨折の発生頻度は85歳以上の患者においては年々、減少した結果を得ている。この事よりBP剤を使用する事で、骨折発生を抑制し、疼痛・QOLの改善、血管イベントを抑制、また、一部のBP剤においては生命予後を改善するなどの功績を認めているが、反面BP剤による顎骨壊死・SSBTなどのリスクも認められている。

中野氏の私見としてBP剤をできるだけ使用したい症例とは、

１、ステロイド骨粗鬆症
２、大腿骨頸部・転子部骨折を一度起こした症例
３、骨密度が極端に低い症例
４、既存椎体骨折がたくさんある（３椎体以上）症例
５、既存椎体骨折のグレードが高い症例
６、FRAXの値が高い症例
７、代謝マーカーが高い症例（尿NTXなら70以上）

医科での見解をされる中野哲雄氏

また、日本骨代謝学会・日本骨粗鬆症学会・日本歯科解剖学会・日本歯周病学会・日本口腔外科学会ではBRONJの予防として口腔ケア、飲酒・喫煙をやめる、糖尿病のコントロールを行うことを推奨している。

BP剤の中止の可否としては、通常、静注によるBP剤は原則として休薬しない。また内服により投与３年未満で、かつリスクファクター無しなら休薬しない。しかし投与３年以上、またはリスクファクター有りで骨折リスクが高く無いなら、休薬することがあると説明された。

今回の講演会を聴講して歯科医師としては日常の診療を通して常日頃より、患者さんにBP剤服用前に歯科治療を行い、メインテナンス可能な状態を維持する事が重要であり、医師・薬剤師との連携が最も重要である事を実感した。　（学術　椿　誠）

ますますお元気な先輩方

― シニア倶楽部 ―

厚生・管理委員会

2010年10月30日　（於）熊本ホテルキャッスル

10月30日（土）、熊本ホテルキャッスルにおいて平成22年度シニア倶楽部が開催された。午後３時より社会保険委員会による社会保険研修会が開催され、36名のシニア倶楽部会員の出席があった。引き続き行われた懇親会は、本年度は41名の参加であった。

懇親会の前に全員による写真撮影を行い、午後５時より竹下理事の司会進行のもと、小島副会長の開会の辞で懇親会が始まった。まず、浦田会長より「現在の熊本県歯科医師会を築いてこられた諸先輩方に感謝申し上げます。」との挨拶があった。

次に、シニア倶楽部を代表して出席者最高齢の師井淳吾会員（熊本市）より元気なご挨拶を頂き、その後、乾杯の発声で堀川義治会員（熊本市）より「毎日健康で過ごせることがありがたいです。65歳からこの会に毎年参加しています。楽しみにしています。」と、堀川会員の最近の診療にあたってのエピソードなども聞かせてくださった。

宴が始まり、しばらくの歓談のあと、浦田会長より寿賀会員への記念品贈呈があった。田中宏会員（熊本市）より寿賀会員代表挨拶が行われた。その後、会話もはずみ、和やかな雰囲気の中、宴はさらに進み、ほどよくアルコールも回ってきたところで余興のカラオケもはじまった。師井会員がトップバッターで（アカペラであった）、どの会員も素晴らしい歌声を披露して頂いた。今回は初の変装（？）も登場し、あっという間に時間が流れた。

最後に前野副会長の万歳三唱、中嶋副会長の閉会の辞をもって懇親会は終了した。ご出席いただいた先生方に感謝すると共に、来年も多くの先生方に参加していただきたいと思う。

寿賀会員は以下のとおり

卒寿：上田義信
米寿：永田　勝、児玉範俊、松本文雄
　　鶴田実馬、田上　学
傘寿：吉﨑久幸、出口久男、宇治壽康
喜寿：瀬戸達弘、多田昌司、中根俊吾
　　田中　宏、武内旌表、坂梨常太郎
　　木村義浩
古稀：横山紘二郎、規矩　保、那須智治
　　若江秀敏、伊藤俊一、河野敬明
　　野田和生、神戸　威、関　剛一
　　杉野陽二郎、緒方義昌、内田　隆
　　宇治道孝、一瀬英輔

（厚生・管理　池嶋　由希）

租税特別措置法第26条の存続を

― 熊本国税局管内税務指導者協議会 ―

厚生・管理委員会

11月11日（木）午後２時より宮崎県歯科医師会館において、平成22年度熊本国税局管内税務指導者協議会が開催され、本県から理事の竹下が出席した。田島逸男宮崎県歯科医師会青申連会長から租税特別措置の適用、事業税における社会保険診療報酬に係る実質的非課税措置、消費税の増税に対する影響においても有意義な協議会となる旨の挨拶があった。続いて日歯の小塩裕税務委員長より、日歯青申連は納税と税制の２輪で合わせてやっていくことが大切である。また歯科医師の青申は94％と他の業種と比較しても高く、長年の地道な努力の成果であると挨拶があった。さらに小塩委員長より民主党政権になり、租税特別措置、事業税非課税措置は継続されたが、来年は真摯に検討をするとのことで、分からない。青申連は会員にとって不利益にならないように活動をしていく。今年より指定地区のみの調査から全都道府県の調査となり3,500件の報告がありより正確な数値が出てくると考えられる等の報告があった。

座長選出のあと、協議が始まった。まず、管内各歯科医師会の現況報告、適正申告推進モデル地区の中津歯科医師会から活動状況について報告があった。

研修として小塩委員長より「平成23年度税制改正の行方」と題して講演があった。

次に、岡崎剛日歯青申連嘱託税理士による「歯科医業経営の現状」の講演があり、宮崎県歯科医師会から青申連への「青申連の今後の活動について」「社会保険診療報酬に対する事業税非課税の特別措置の存続について」の質問があった。社会保険診療報酬等に対する消費税の非課税制度の問題点および、ゼロ税率課税制度にあらためる要望を続けて行う旨、詳しく説明があった。

e-Tax普及率　歯科は60％

休憩をはさんで、熊本国税局課税部個人課税課長の福島賢一氏、記帳指導専門官の長友久美子氏に出席いただき、第二部が行われた。まず、「国税局管内における税務の現状について」、「税務諸問題と会員指導について」説明があり、最近の税務調査の現況として厚生・管理だより平成22年２月第５号に掲載しておりますが、回収した撤去冠の金属代の計上もれ、診療以外の株取引等の利益を計上していない旨の説明があった。

e-Tax普及率に関しては、全体は35％であるが歯科診療所は60％である。

協議会は定刻の５時に終了した。次年度は熊本県での開催予定である。

（厚生・管理　竹下　憲治）

お知らせ

平成22年度通常代議員会・通常総会の予告

下記の通り平成22年度通常代議員会・通常総会を開催いたしますのでお知らせします。

記

通常代議員会　日時：平成23年３月５日（土）　午後２時～
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール
※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、
会議場後方に席を用意してありますので、ご来場下さい。

通常総会　日時：平成23年３月５日（土）　午後５時～（代議員会終了後）
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

歯科衛生士の仕事は楽しい

― 歯科衛生士の卒後研修会 ―

厚生・管理委員会

11月14日（日）午前10時より、県歯会館において、歯科衛生士の岩崎小百合講師（兵庫県加古川市　いわさき歯科医院）をお招きし、「歯科衛生士の仕事は楽しい」と題して、歯科衛生士の卒後研修会が、参加者73名のもと開催された。

竹下理事の挨拶の後、まず、岩崎氏より自己紹介があった。なぜ歯科衛生士になったのか、そして、現在に至った過程を楽しく紹介された。そして、「歯科衛生士」だから選ばれるのではなく、あなただから選ばれるように準備する必要があるのだと熱く語られた。以下要旨。

歯科衛生士の仕事には以下のステージがある。
20代…がむしゃらな時期、勉強して基礎固め
30代…子育て、チャレンジへの準備
40代…子育てがひと段落、チャレンジの時期、働き盛り、というように息の長い仕事である。

歯科衛生士の仕事は範囲が広い
①歯科診療所での仕事
②行政の窓口≪高齢者の相談など…≫
③介護の現場≪在宅、施設≫
④教育の現場
というように多岐にわたっている。自分の能力や良さをいかして、歯科衛生士を続けることができる。そのためには卒直後の今の基礎固めが非常に大切である。どの環境に行っても良いように勉強が必要であり、コミュニケーション能力を高めることも大事である。歯科衛生士が業務に専念できるような現場づくりも必要である。講師は「プロの助手」を育てる必要性も語られた。

実際、岩崎氏が日ごろどのように仕事をされているのかを、臨床、現場の状況、患者さんとのやりとり、エピソードを交えて話され、参加者のモチベーションのアップがはかれたと思われる。考え方を少し変えるだけで楽しく働くことができることも示された。

笑顔で生き生きと働く！

参加者のモチベーションアップがはかれた

昼食をはさんで、午後からは4名ずつのグループに分かれ、コミュニケーションの実際を体感できるようなゲームがあった。コミュニケーション能力、チームワークの大切さ、即座の役割分担の必要性などを実感できた。

本日の講演会は参加者の歯科衛生士の皆さんが講演で学んだことを、すぐ仕事に生かしていけるような講演会であり、非常に有意義であったと思う。

（厚生・管理　池嶋　由希）

会員のために何が出来るか

― 近県社会保険担当者会議 ―

社会保険委員会

11月13日（土）午後２時より県歯会館において「第13回近県社会保険担当者会議」が開催された。香川県、山口県、熊本県の会長始め、社会保険委員が一堂に会して社会保険に関する各県の活動報告、情報交換を行うことを目的として、毎年持ち回りで開催されている。

担当県である本県の田中社保委員長の司会進行の元、中嶋副会長による開会の辞の後、浦田会長と山口県歯右田会長より挨拶を賜り、この会議の意義や目的について話して頂いた。

その後、座長として選出された前田理事の進行により本題に入った。

まず、報告事項として先日行われた「厚生労働省及び九州厚生局、熊本県による保険医療機関の共同指導」の報告があった。本年度は４月に保険点数の改定があり、これまで社保委員会ではその解釈に対する議論を続けたが、今回の指導によりその解釈がより明確になったとの報告があった。

次に、協議事項として各県に事前に協議題の提出を頂いていた事項について協議をした。その協議題の中でも最初に挙がった事項は、歯科医院の経営対策において社保委員会では会員の為に何が出来るかということであった。情報を分かり易く伝えることが重要だということで各県の確認を取った。その他、個別指導に対する各県社保委員会の対応、支払基金、国保における審査の状況、電子レセプト請求手続きの状況、診療に関わる点数算定の解釈等について情報、意見の交換がなされた。重要案件においては、議論が白熱する場面もあり、緊張感を持った議事が進行された。

４時間に及ぶ会議

４時間に及ぶ会議で疲労の色を隠せなかった先生方ではあったが、「城見櫓」での懇親会の席ではそのような姿は全く見られず、会議では話せないような様々な議論が交わされていた。

（社会保険　工藤謙太郎）

お知らせ（再）

歯科医師、医療従事者の方は届け出をお忘れなく

1　提出期限　平成23年１月17日（月）
2　調査日：平成22年12月31日現在
3　歯科医師免許をお持ちの方（未就業の方も届出が必要です）
4　歯科衛生士・歯科技工士として就業中の方（未就業の方は届出は不要です）
5　お問い合わせ先

熊本市保健所（096）364-3186
有明保健所　（0968）72-2184
菊池保健所　（0968）25-4156
八代保健所　（0965）33-3197
阿蘇保健所　（0967）32-0535
人吉保健所　（0966）22-3107
御船保健所　（096）282-0041
水俣保健所　（0966）63-4104
宇城保健所　（0964）32-2416
山鹿保健所　（0968）44-4121
天草保健所　（0969）23-0172

県庁各課
【医師・歯科医師・薬剤師関係】
県庁健康福祉政策課　（096）333-2194
【歯科衛生士・歯科技工士関係】
県庁医療政策総室（総務･医事班）
（096）333-2205

電子レセプト請求免除・猶予、電子レセプト請求移行の手続きを確実に！

― 電子レセプト請求届出手続き説明会 ―

社会保険委員会

11月20日（土）午後５時より県歯会館において「電子レセプト請求届出手続き説明会」が開催された。

当日は電子化を検討している約60の医療機関から参加があり、支払基金と国保連合会より各２名の職員が説明に来られた。

中嶋副会長より現在の電子レセプト請求の普及状況や全会員が免除や猶予、電子レセプト化移行のいずれかの手続きを期日までに確実に終了するように、各郡市単位で説明・指導を行っていきたいとの挨拶があった。

電子レセプト請求にはメリットがあります

引き続き、支払基金の渡辺事業管理課長より「電子レセプト請求へのステップ」と題して説明が行われた。平成23年４月診療分（５月電子レセプト請求）より電子レセプト請求を確実に開始するためには、平成23年２月20日までに電子レセプト請求開始の届出を行っておく必要がある。また、届出書類の説明後に、電子レセプト請求のメリットについても話があった。

もし免除・猶予届出の手続きがなく、４月診療分の電子レセプト化が間に合わなかったら、紙によるレセプト請求が受理されないのでご注意を！

真剣に聞き入る会員

さらに、免除・猶予届の提出を行ったが、受理されたかどうか心配な医療機関は、下記の照会先に確認し、また、レセコンの保守管理契約やリース期間が１年更新の場合は、毎年猶予届の提出が必要ですので、今一度契約内容をご確認いただきたい。

各会員医療機関において確実な移行手続きが終了できるように、社会保険委員会としてもサポートに勤めていきたい。

〔オンライン、電子媒体請求、免除・猶予届の照会先〕

○支払基金熊本支部 事業管理課

ＴＥＬ：096-364-0316

（ガイダンス応答に続いて）

内線番号　302・304

（話中の場合は、096-364-0105（代表）まで）

○熊本県国民健康保険団体連合会

審査調整係

ＴＥＬ：096-365-1383

（社会保険　反後　雅博）

年男・年女インタビュー

①氏名（敬称略）
②生年月日
③今年の抱負
④昨年のニュース（出来事）の中で、どんな事が印象に残りましたか
⑤いま関心があることをお聞かせください
⑥あなたの健康法を教えてください

水風呂健康法

①椿　　幸雄
②昭和14年１月24日

③2010年７月～2011年６月まで、ライオンズクラブ国際協会337－Ｅ地区（熊本）ガバナーを務めます。世界206ヶ国、130万人が所属する奉仕団体です。
　337－Ｅ地区会員1600名程、日本全体で106,914名がいます。青少年健全育成、献腎、献眼、献血運動、環境保全、国際援助その他etc地域に密着した奉仕をしております。無事に任務を終える事を願っています。
④尖閣諸島における中国漁船が日本の巡視船に衝突の件。実際の現状を早く知らせるべき（ビデオ放映すべき）
⑤日本的には景気対策が一番重要である。世界的には５歳まで生きる事が出来ず命を落とす子供がいる。又食べるものもない子供達、いまだにトラコーマによる視力不全、失明にもつながる人々がいる事を思い奉仕が必要である。
⑥一年中風呂あがりに水風呂あるいは水のシャワーを浴びる

平穏にすごしたい

①吉田　皓一
②昭和14年４月23日

③一昨年から体調を崩し、家族、友人に大変な心配をかけました。今年は、平穏にすごしたい。
④領土問題（政府は、しっかり国土を守ってほしい）
⑤孫達の健やかな成長
　原田裁志（弟）の病気回復
⑥月に２～３回の下手なゴルフ。お付き合い下さる神戸、伊藤（水俣）先生よろしく

健康第一

①西山　洋一
②昭和14年８月14日

③健康（空手でダイエット笑）
④・イチローの10年連続200本安打すごい！
　・気候温暖化
⑤・九州新幹線全線開業
　・永田町（国会）
⑥・ウォーキング
　・ゴルフ（グランド（笑））

ケセラセラ

①下山　純生
②昭和26年１月15日

③ケセラセラと無理せず、明るく楽しんで今やっていることを継続していきたい。
④はやぶさの奇跡的な帰還、どんなに困難で

もあきらめず希望をもち続ける事の大切さ。
⑤何といっても一番は健康です。
⑥がんばりすぎない事と１日１時間は軽い運動をする事。

他者のために尽くす

①何　俊二郎
②昭和26年２月４日
③歯科医療に限らず、“他者のために尽す”を実行し続ける事。
④尖閣問題を発端とする、中国、ロシアの動向。
⑤地球環境の悪化が急速に進んでいる事
⑥昼休み、熊本城をウォーキングする事

しっかり、心置きなく遊ぶ

①緒方　講治
②昭和26年２月15日
③・しっかり遊ぶ
・心置なく遊ぶ
④民主党のやる事なす事（衆愚政事）
⑤・健康
・若い人達の未来（日本社会のメルトダウン）
⑥雨にもめげて風にもめげて無理せず住宅街で野良仕事。

楽しくお酒を

①三笘　　司
②昭和26年３月８日
③３泊以上の旅行を２回以上したい！
④・尖閣諸島のビデオと、政府の対応問題
・タイガーウッズの女性問題・参議員選挙
⑤特になし
⑥毎朝、毎夕の犬との遊びと、ラジオ体操です。それと、気の合った仲間と楽しくお酒を飲む事かな！

ストレスのない生活を

①鳥巣　　直
②昭和26年３月13日
③体重を減らして、自己管理し毎日を有意義に過ごしたいです。
④ワールドカップ　前評判は高くなかったが、試合を重ねるごとにチーム一丸となって戦い感動を与えてくれた事
⑤温暖化により、季節感が薄れてきてる
⑥できるだけストレスのかからないような生活をすること

一年間健康で

①永野　　忠
②昭和26年５月４日
③なんとか一年健康で過ごせますように。
④尖閣列島及び北方領土問題、何で日本はこんなに弱腰の外交しかできないのか、過去にとらわれて遠慮していたら、また痛い目にあうでしょう。
⑤歯科医療には、閉塞感を感じています。介護の世界のほうが先が明るいようです。そちらの方を拡大していきたいです。
⑥何をしても長つづきはしないので、現在何の健康法も取り入れていません。特にストレスのない生活を送っていくのが、一番の方法と考えています。

ウマい酒飲みたい

①江藤　寛文
②昭和26年７月７日
③還暦を迎えた今年も、ウマい酒を飲みたい！
④北朝鮮が韓国延坪島を砲撃したこと。
⑤体重は減らないのに、身長が縮んでいくこと。
⑥毎朝５㎞の散歩。もう10年は越えます。

何事も積極的に

①森　　隆文

②昭和26年７月20日
③今年は還暦ですが、気持ち的には50才のつもりで、何事も積極的にやって行きたいと思います。
④尖閣沖での漁船衝突事件と民主党の対応のまずさ。
⑤・これからの政局。（大連立成るか？）
　・院内のデジタル化
　・子供の成長
⑥週１回のスイミング（今年は週２回にしたい）と毎日の腹筋ストレッチ

デンタルＣＴの活用

①奥村　敏之

②昭和26年７月24日
③昨年末にデンタルＣＴを導入しました。本年は多くの症例で活用していきたいと思っています。
④やはり、中国漁船に関する事項でしょうか。
⑤当院でのオールデジタル化
⑥ウォーキングと乗馬です。

大過なく過ごす

①蔵田　幸一

②昭和26年７月26日
③この一年を大禍なく過ごすこと
④中国漁船に体当たり事件、それに証拠影像をひた隠しにしようとした政府民主党の対応。これだけ明白な証拠を何故世界に発信しなかったのか不思議でならない。
⑤民主党の崩壊
⑤別にこれといったことはありません。体に悪いことばっかりやっているので少し反省はしています。タバコだけはやめてもう17年目になります。

食養生

①上元ふみ子

②昭和26年７月28日
③癌術後５年目になりますので無事クリアーしたいと思っています。
④対ロ・中・韓の隣国との領土問題における日本政府の対応
　雇用情勢の悪化
⑤・食と健康
　・断捨離
⑥・ウォーキング
　・ヨガ
　・食養生
　・友との語らい

一歩ふみだす

①澤木　孝明

②昭和26年７月29日
③前向きに一歩ふみだす。
④中国軍、航空母艦就役
⑤自主憲法制定
⑥朝鍛会の継続

何かに挑戦

①片山　公則

②昭和26年８月２日
③今年で開業30年、そして還暦と節目の一年
　何かに挑戦
④尖閣諸島沖合での中国漁船と海上保安庁巡視船の衝突事故に対する日本の対応
⑤歯科分野では歯内療法の見直し。
　水源維持の為に森林をいかにして保護するか。
⑥仲睦ましい夫婦でいる事

冒険心を持って

①原賀　康彦

②昭和26年９月３日

③一度目の人生を恙無く過ごせたことに感謝し、二度目の人生を優れた創造力、逞しき意思、燃える情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心を持って老いを退け、まだまだ続く青春を楽しく過ごしたい。

④・鈴木・根岸さんのノーベル化学賞受賞
・「はやぶさ」、金星探査機の快挙と宇宙技術の素晴らしさ
・チリの落盤事故から69日での全員救出できた掘削技術
・夏の猛暑と「氷河期」を下回る大卒者の内定率57%

⑤・生物多様性が提唱される今、自然破壊が進み、動物達の生活圏が狭くなっている山を歩き眼で確かめ自然保護活動への参加、学習
・町家造り、人の行き交う「街」づくり、地域の活性化活動

⑥・早起き、ラジオ体操の継続
・週一テニスとその仲間とのしゃべり
・暇を見つけ、山歩きと、渓流つり

食事は腹八分

①江田　雅彦

②昭和26年10月27日

③メタボ解消

④民主党大敗

⑤ウォーキングとかジョギング

⑥それほど健康とはいえない。食事は腹八分。

ブリーダーズカップに挑戦

①安田　光則

②昭和26年11月17日

③抱負というより夢ならあります。宝くじ当てて、高馬買って、ブリーダーズカップに挑戦かな。

④・チリ鉱山奇跡の救出
・横浜ベイスターズ身売り問題

⑤・妻の病状、両親の健康状態、愚息の学費捻出、そして北海道にいる愛馬の育成状況
・横浜ベイスターズの行く末

⑥・自分の健康については無頓着なので、特別ありません。

１日１日を大切に

①工藤　孝昭

②昭和38年１月23日

③１日１日を大切に生きていく事

④家内が、52日間、国立病院に入院した事により１日24時間では時間が足らなくなった事

⑤病気に勝つ為の免疫力について

⑥熊本県立第１高校で女子高生とバレーボールをやること。月１ゴルフ

新しい出会いを

①秋山　　清

②昭和38年３月２日

③仕事、ゴルフをはじめ…“人”としてのレベルアップ
肉体的、精神的な健康維持に努める

④長女が一浪の末、第一志望の東京（の）大学へ進学したこと。次女が自分の意志で歯科衛生士の道を選び学院に合格したこと。「入れ歯大好き」村岡秀明先生が実は“お茶目”な人だったこと。

⑤暗い歯科界と云われる中、いかに自院を成

長させていくか。練習場シングルと揶揄される私のゴルフが、いつ本コースで開花し“70台”を叩き出すのか！（笑わない）

⑥まずは歩くこと。休日は必ず外出し、太陽光を浴びること。仕事場が銀座通りの為、週２～３回は寄り道して旨いビールを注入して、新しい出会いを求めること（…異性との出会いは？）

ほどほどに

①高田　博樹

②昭和38年３月４日

③メタボ直前なので、ダイエットしてウエストを引き締める。

④北朝鮮の韓国への砲撃

⑤若者の就職氷河期

⑥ほどほどに食べ、ほどほどに飲み、ほどほどに仕事する。

旅行に行きたい

①白石　　久

②昭和38年３月12日

③残りの人生が短かくなってきました。体の動けるうちに、旅行にゆくこと。

④尖閣諸島沖の衝突事件、中国の拡大主義

⑤地域への社会的な貢献で何が出来るか？

⑥雨の日を除いて、朝、公園を歩く事

何事も楽しみながら

①髙木　公康

②昭和38年４月１日

③歯科という仕事をもっと多角的な視野に立ってニーズに応えられるようになりたいです。

④尖閣諸島でのビデオやウィキリークスなど今まで国家機密とされていたものがいとも簡単に流出する様になった事

⑤2012年マヤ暦の預言。資本主義の崩壊など色々なことが言われていますが、世の中がどんな風に変化してゆくのか。

⑥「おもしろくなき世を面白く住み成す者は心成り」の気持ちをもって、何事も楽しみながら生活してゆくこと。これを言った本人は健康ではなかった様ですが（笑）

カートに乗らず歩く

①黒木幸一郎

②昭和38年４月10日

③卯のように寂しがり屋で、夜の街を「ピョンピョン」跳ね回ってましたが、息子が大学に入り学費も掛かるのでより一層仕事を頑張ろうと思ってます。

④・サッカーＷ－Ｃｕｐ　日本代表の活躍。
　―“よくやった”
　・チリの炭鉱落盤事故―“奇跡ばい”

⑤この２年ぐらい本気でゴルフにハマってますのでゴルフクラブとボールの進化に関心があります。(笑)。

⑥・ゴルフのラウンド中はカートに乗らず歩く事。
　・以前より飲みに行く回数を減らしてます(笑)。

最近運動不足で…

①阿久根秀典

②昭和38年４月13日

③次に卯年を迎える頃には60歳。還暦を迎え、一般企業なら『定年』になる歳となります。ラスト12年のスタートの年と位置付け決意もあらたに頑張る所存です。

④早稲田大学の出雲駅伝と全日本大学駅伝の連勝。

⑤正月の箱根駅伝。早稲田の大学３大駅伝完全制覇はなるか。
娘の大学受験。決まってさえくれれば、それでいい…。

⑥最近運動不足で特に何もしていません。

時々思い出した頃にエキスパンダーを引っ張り、ヌンチャクを振り回しています。

よく食べ、よく寝る

①池嶋　由希
②昭和38年５月１日
③健康に留意し、笑顔で仕事をすること。
④チリ鉱山の33人無事救出のニュース
⑤家族や、スタッフなどの健康状態
⑥よく食べて　よく寝ること。

健康に留意して仕事を

①増永　幸生
②昭和38年５月24日
③・信頼される歯科医師になること
・健康に留意して仕事をすること（家族の健康と幸福）
・体重を減らしたいが…（メタボ進行形）
④・尖閣諸島問題（中国デモ）
・宮崎県口蹄疫拡大
・子ども手当、家電エコポイント、エコカー補助金・減税
⑤ゴルフ、剣道、スポーツジム（水泳）、子供達の成長
⑥ゴルフと剣道の練習、スポーツジム（水泳）、ウォーキング等々

自分のために毎日を過ごす

①山村　礼二
②昭和38年８月25日（チキンラーメンと同じ）
③開業以来、働け！おじさん状態なので、少しは、人のためではなく自分のために毎日が過ごせればと思います。
④事業仕分け。いちいち無駄が多すぎる。コスト意識無さ過ぎると思います。国会で茶番を繰り返すより１回真剣に日本の将来を話し合ったら？と思います。
⑤我が子の進路、それに伴なう財源。（自分に似ているので不安。）
⑥数値的に健康でないので…強いて挙げれば生活リズムを崩さない事でしょうか…。

張りのある生活

①竹田　博文
②昭和38年８月30日
③向上心を持って、張りのある生活を送ること
④「はやぶさ」の帰還
⑤子供の教育
⑥よく寝て、よく仕事して、ゴルフをすること

任期を一生懸命務める

①牛島　　隆
②昭和38年９月10日
③任期一杯理事職を一生懸命務めること。５月の広島での日本補綴学会120回記念学術大会シンポジウムに向け準備をしっかり頑張ること。
④西村まさみ氏の当選
⑤県歯会員にとって学術事業がどうあるべきか
⑥１日２食

感謝の気持ちを持って

①上野　聡之
②昭和38年９月27日
③身に起こることは素直に受け止め、感謝の気持ちをもって、ウサギのように、跳びはね回る！
④みんな仲良く、我が事ばかりを考えずに、相手をもう少し思いやりさえすれば、起きずに済むような事象ばかりが目立った気がします。
今年こそは、みんな仲良く出来る世の中になれるように祈りたいものです。

⑤アンチエージングについて
⑥positive thinking

健康一番

①鶴田　善久
②昭和38年10月９日
③健康に気をつけて、１年間を乗りきりたいと思います。
④首相の交代劇、急激な円高、外交問題と不安要素が非常に多い１年だったと思います。
⑤ストレスなく、あまり体に負担をかけずに体重を減らしたいです。
⑥昔に比べて、風邪などを一度ひくと、治るまでに時間がかかるのでできる限り、十分な睡眠をとるようにしています。

強く生きる！

①金本　良久
②昭和38年10月30日
③強く生きる！
④子どもの（小学校の）運動会が雨だった。
⑤家族のこと（子ども達の成長、妻・親が元気か等）
⑥体を動かすこと（バドミントン、ランニング等）

日々是好日

①松岡　弘毅
②昭和38年11月３日
③日々是好日
④領土問題
⑤ＰＴＴ
⑥早寝早起

体力増強

①宮田　正孝
②昭和38年11月７日
③ラグビーＯＢ戦　フル出場（毎回ケガのため途中交代しているので）
④中国の脅威
⑤ロードバイク
⑥早朝ジョギング、毎日２ℓ水分補給

戦う歯科医

①添田　誠也
②昭和38年11月７日
③戦う歯科医になること。
④診療報酬2.09％アップが実は熊本ではマイナスだったということ
⑤長男の高校受験。
⑥健康法というわけではないですが、体調不良を感じたら病院で検査をすぐします。すると自分で思ってるよりはるかに健康であることがわかり健康上のストレスがへります。

ビールを飲む

①王　　暁華
②昭和50年12月20日
③一人でも多くのこどもたちに名前を覚えてもらうこと。
④綿花（ロールワッテ）による死亡事故
⑤叢生のこどもたちが多いこと。歯列形成について
⑥毎日ビールを飲むこと

郡市会だより

ビスフォスフォネート系薬剤による顎骨壊死

― 宇城三郡市学術講演会 ―

宇土

11月20日（土）午後３時より県歯会館４階大ホールにおいて、宇城三郡市学術講演会が開催された。九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座の中村誠司教授をお招きし、「ビスフォスフォネート系薬剤の投与を受けている患者さんの顎骨壊死」という演題で講演があった。宇土郡市歯科医師会の中村進会長の開会の辞に続き講演が始まった。

近年、ビスフォスフォネート（以下BPと略す）系薬剤の副作用のひとつとして顎骨壊死が報告されているが、その発生機序が明確ではなく、予防法や対処法も確立されていないので、医師や歯科医師の間で不安感が広がっている。そこで、ようやく、“医師、歯科医師、口腔外科医、薬剤師、コメディカル、そして患者に正確な科学的情報を提供し、多様な視点から予防策、対応策について統一的見解を提言すること”を目的として、日本骨粗しょう症学会、日本骨代謝学会、日本口腔外科学会、日本歯周病学会、日本歯科放射線学会の各代表者で構成されたBP関連顎骨壊死検討委員会でポジションペーパーが作成された。今回の講演では、まずこのポジションペーパーの解説があり、実際の症例を見ながら予防法や対処法などについて説明があった。歯科医の対応ガイドラインとして、BP系製剤投与前の患者の場合、①十分な口腔検査を行う。②十分な口腔ケアを指導する。③必要な一般的歯科処置は積極的に実施。④抜歯などの侵襲的歯科処置が必要な場合は、BP系製剤の投与開始前に完了することが必要である。また、注射用製剤の投与を受けている患者の場合、①②③は前述と同じだが、④抜歯などの侵襲的歯科処置や歯科インプラントは厳禁であり、最も非侵襲性の歯科処置が推奨される。⑤すでに顎骨壊死を発症している場合は適切な対応を図る（治療ガイドラインを参照）これに対して経口製剤の投与を受けている患者の場合、注射用製剤と比較すると、経口製剤による顎骨壊死の発症リスクは低い。ポジションペーパーで示された休薬のポイントや顎骨壊死を起こした患者への治療ガイドラインなどについても症例を交えながら分かりやすい説明があった。

中村教授と３郡市の会長で

BP系製剤による顎骨壊死は一旦発症すると極めて難治性であり、最悪の場合には顎骨を失ってしまうこともあるので発症させないことが第一である。医師、歯科医師、薬剤師が的確な連携を図り、BP系薬剤による顎骨壊死を予防する、惹起しない、そして不幸にして発症した場合には適切に治療・管理することが求められる。と中村教授は“まず予防の大切さ”を何度も訴えていた。

BP系製剤を投与された患者がこれからますます増え続けていく今日、BP系製剤による顎骨壊死を引き起こさないためにも、日々臨床に立ち向かう私たち歯科医師もこれらのガイドラインを守って、安心、安全な対応をとっていかなければならないと思った。

今回の講演には歯科以外の医療従事者スタッフの参加も多くBP系製剤への関心の高さがうかがえた。

講演終了後、懇親会も開かれ、中村教授を囲んで三郡市会員で親睦を深めた一日となった。

（青山　泰子）

ひれ酒片手に

― 阿蘇郡市支部旅行in別府 ―

阿蘇

11月20日・21日、恒例の別府一泊旅行が行われた。現地集合ということで別府市上人ヶ浜の旅館晴海に５時ぐらいから各会員が到着。食事の時間の７時までみんな温泉につかり旅の疲れをいやした。食事はフグのフルコース、てっさ、唐あげ、白子焼き、てっちり等々。ひれ酒片手に「うーん　ええ塩梅ですな」。

さすがに日頃の飲み会と違って、明日の朝もゆっくりできるとあってみんな、酔うのも早いようだった。そうこうするうちに宴会もおしまいとなり、それぞれ別府の町に出て…あれっ…、朝になり朝食に起きてこれない先生約１名、もちろんみんなで分けた。

朝食後ミーティングでこれからのスケジュール等の報告を受けて、それぞれ帰途についた。

やっぱり一泊旅行はいいですね。これで又会員間の結束が一層強くなったような気がした。

（乗谷　　真）

郡市会だより

プラスアルファを求めて

― 冬季学術講演会 ―

11月20日（土）午後４時より菊池郡市歯科医師会館にて、冬期学術講演会が開催された。講師に熊本市開業の宮田正孝会員を迎えて、「プラスαを求めて」という演題で講演があった。

講習会で習ったことを、あるいは教科書を読んだだけのことを、いざ自らの臨床で取り入れてやってみようとしても、短時間で何の問題もなくうまくいくことは比較的少ないと思われる。そのような時、経験豊富な先輩歯科医師にちょっとした「こつ」を教えて貰うとすんなりとできるようになることは多い。そのような日常臨床での一工夫が満載の講演会であった。

具体的には、歯根近接している場合の歯冠修復の困難性とその解決のためのＭＴＭの有効性に関して１）歯根近接が認められる歯の歯間を広げたい時、モジュールを用いることが多いが、モジュールプライヤーを用いずとも、フロスでモジュールを結紮し引っ張ることで代用できる。また、支台築造の際、生物学的幅径を確保しフェルールを獲得することの重要性を解説し、２）エクストルージョンを行う際、パワーチェーンで牽引しても有効であるが、ラス・オー・スレッドを用いるとより簡単にできるといったことを臨床写真で示していただいた。

懇切、丁寧に解説していただいた

また、口腔内写真、レントゲン写真を規格性をもって撮影し、患者説明用の資料としていくことも有効であると説明された。なかでも、エンド治療の精緻さには目を見張るものがあり、根管拡大、根充などに関して多数の質問がとんだ。

場所を移した懇親会場でも活発な質疑応答がなされ、ざっくばらんな雰囲気のなかにも明日からの臨床に非常に役立つ講演会であった。

（城　　敦哉）

菊池

研修の繰返しが重要

― 救急救命・ＡＥＤセミナー ―

11月24日（水）午後７時30分より菊池郡市歯科医師会館にて、救急救命・ＡＥＤセミナーが開催された。講師に菊池北消防署の大村救急救命士を迎えて、講義と実習を行った。

まず、大村救急救命士より、心臓停止後の３分間が重要で、その３分間で適切な処置が施されない場合50％死亡する（カーラーの救命曲線）事を理解しておくべきだと説明があった。その後ＡＥＤの取り扱いについて、ＡＥＤは心室細動に対して反応すること、意識がなくなっている人にはＡＥＤを使用してかまわないこと、電極パッドを体に密着させることが重要であること（例えば、体が濡れている場合は、乾いた布などで良く拭いてパッドを装着すること）を解説された。

次に人形を意識消失した人にみたて、具体的な一次救命処置の手順をデモンストレーションを行いながら分かりやすく解説された。その手順は、まず、呼びかけを行い、循環のサイン（呼吸、咳の有無、体の動き）を確認、反応無ければただち119番、ＡＥＤがあれば準備、それとともに気道確保、人工呼吸２回（少し胸が膨らむ程度、ゆっくりと）胸骨圧迫30回（１分間に100回のペースで、肘を伸ばして押す、胸が４センチ程度沈むくらいに力を加える）。人工呼吸２回と胸骨圧迫30回を救急隊が到着し、引き継ぐまで繰り返す。

胸骨圧迫30回、人工呼吸２回

参加者はスタッフも含め32名。盛会であった。

救命処置は、頭で理解していても「いざ」という時に使えなければ「絵に描いた餅」である。繰り返し研修を行っていくことが重要であると感じた。

（城　　敦哉）

郡市会だより

大相撲九州場所を観戦

― 3年ぶりの親睦旅行 ―

水俣・芦北

11月20（土）21（日）の2日に渡り水俣芦北郡市歯科医師会の親睦旅行が開催された。前々回の旅行は学術講演会と重なり、前回は新型インフルエンザの流行で止む無く中止となり、今回は3年ぶりの旅行となった。若江会長以下7名の参加者のもと大相撲九州場所（7日目）を観戦にいった。横綱白鵬が連勝していたなら双葉山の大記録69連勝に並ぶまさにプレミアムチケット当日であったが、残念ながら2日目にして平幕の稀瀬の里にあっけなく寄り切られ連勝が63でストップ。連勝は間違いないだろうと旅行を楽しみにしていた我々の期待はあっさり裏切られてしまった。

水俣から新幹線で来られる会員と新八代駅で合流し、13時5分のリレーつばめで福岡に向かった。ホテルにチェックインしすぐに福岡国際センターに移動、どうにか中入の幕内土俵入りと横綱土俵入りには間に合った。最近は角界の不祥事でガラガラであった客席も、さすがにこの日はみなさん期待していたとみ

国際センター前で

え満員御礼の垂れ幕が下がり熱気に溢れていた。地元魁皇の取り組みと横綱白鵬の取り組みの時はさすがに地響きのするような割れんばかりの歓声で大いに盛り上がった。

夜の宴会は国際センターから歩いて行ける、安かろう、美味かろうで人気のある「水たき長野」で行った。美味しい水炊きに舌鼓し、酒を交わしながら相撲談議で楽しいひと時を過ごし日々の診療の疲れを癒した。その後はそれぞれ中洲のネオン街に消えて博多の夜を満喫しているようだった。

（鬼塚　友文）

混迷の平成22年の締め

― 忘年会 ―

荒尾

12月9日（木）午後7時30分より、ホテルヴェルデにおいて、荒尾市歯科医師会忘年会が中村圭介会員の厄入りを兼ねて開催された。

初めに福嶋修治会長より、迷走する民主党政権を憂う政治状況でありますが我々荒尾市歯科医師会は会員の協力により無事一年を過ごすことが出来たことに対する謝辞を述べ、本日は今年の嫌なことを忘れて飲みましょうと挨拶を述べた。続いて中村圭介会員より厄入りにあたって、本年の結婚と子息の誕生を報告し、今後の抱負を述べた。

引き続き、北野正民会員の乾杯の発声により酒宴がスタート。会員各々は座席を離れ互いに少し酩酊しながらのコミュニケーション

四十路の決意を述べる中村圭介会員

を楽しんだ。こうして盛会のうち、およそ午後十時に今年の忘年会は幕を閉じた。

（馬場　一英）

山口（一）八木ペア、城井ペア全日本制覇！

― 全日本歯科医師会テニス大会 ―

11月14日（日）博多の森テニスコートにて全日本歯科医師会テニス大会が開催されました。今回は開催が福岡のため熊本から一般の部に山口（一）八木ペアと山根、山口（英)ペアの二組と100才以上ミックス（ペアを足して100才以上）に城井、堂原（鹿児島）ペアが出場しました。予選リーグを１位通過した３ペアは、決勝トーナメントでも全国の強豪を接戦で倒していき見事！山口（一）、八木ペア一般の部優勝！城井、堂原ペアミックス100才以上で優勝しました！山根、山口ペアも４位と大健闘。全日本の一般の部で熊本勢が２ペアベスト４に入賞するのは快挙！それと一般の部の山口（一）、八木の決勝の相手は九地連の決勝で敗れた博多の強敵で、山口（一)の活躍で見事リベンジを果たしました。帰りは大渋滞も勝利に酔いしれて、明日の仕事も忘れご機嫌で帰路につくのでした。仕事も頑張るぞー!?

山口（一）八木ペア、一般の部優勝

城井ペア、100才以上ミックスで優勝

（八木　俊晃）

訃　　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

下村　敏朗 先生

平成22年12月27日　ご逝去　53歳

- 郡　市　名：熊本市
- 入会年月日：平成16年２月25日

会長の動静 12月

日付	曜日	時間	行事内容	場所
12月1日	水	14:00	第８回日歯対外ＰＲ小委員会	日歯会館
		15:00	第７回日歯ホームページ企画小委員会	日歯会館
		16:00	第７回日歯対内広報小委員会	日歯会館
		17:00	第９回日歯広報正副委員長及び小委員長打合会	日歯会館
12月2日	木	13:30	学齢期歯科保健研修会（熊本市地区）	県歯会館
12月4日	土	15:00	第２回各郡市会長・専務理事連絡会議	県歯会館
		18:00	増田憲元会員日歯会長表彰受賞祝賀会	熊本市
		19:30	新樹会望年会	ニュースカイホテル
12月6日	月	15:30	第710回支払基金幹事会	支払基金
		18:00	第９回連盟幹事会	県歯会館
12月7日	火	18:45	副会長会議	県歯会館
		19:00	第１７回常務理事会	県歯会館
12月8日	水	19:00	熊本県組合地区国保運営協議会役員研修会	県歯会館
12月10日	金	13:30	職員冬季賞与支給式	県歯会館
		14:30	税理士法人ユース会計社新体制披露講演・パーティ	ホテルニューオータニ
		19:00	損保ジャパン熊本支店役員との懇談会	熊本市
12月11日	土	18:30	鹿大歯学部同窓会県支部忘年会	熊本市
12月15日	水	15:00	日歯役員勉強会	日歯会館
12月16日	木	10:30	第１０回日歯理事会	日歯会館
12月18日	土	14:30	日歯生涯研修ＤＶＤセミナー及びＣＴ撮影に関する研修会	県歯会館
12月19日	日	17:00	九大歯学部同窓会県支部忘年会	熊本市
12月20日	月	18:40	支払基金審査委員懇談会	ホテルニューオータニ
12月21日	火	17:15	県体育協会第２回財務特別委員会	ホテル日航
		19:00	第１８回常務理事会	県歯会館
12月22日	水	19:00	学校歯科委員会	県歯会館
12月23日	木	12:00	道津剛佑長崎県歯前会長旭日小綬章受章祝賀会	ホテルニュー長崎
12月24日	金	19:00	学院臨地実習反省会	県歯会館
12月25日	土	16:00	藤川隆夫候補推薦状伝達	県歯会館
		17:00	社会保険・学術講演会	県歯会館
12月27日	月	17:00	第９回理事会	県歯会館
12月28日	火	13:00	仕事納め式	県歯会館
		13:15	ＴＫＵ広報番組「医療あれこれ」収録	県歯会館
12月29日	水	13:00	故下村敏朗会員（熊本市）告別式弔辞奉呈	熊本市

会　務　報　告

自　平成22年11月19日
至　平成22年12月21日

所管	日付	摘要	出席
総務	11月22日	（熊本県主催）学齢期歯科保健指導者講習会（上益城地区）（御船町カルチャーセンター）	岩本委員長、江藤会長（上益城郡）
		熊本地域リハビリテーション支援協議会総会・特別講演（パレアホール）	小島副会長、松岡理事
		月次監査 10月末現況監査	遠山・片山監事
	24日	（熊本県主催）学齢期歯科保健指導者講習会（芦北地区）（芦北地域振興局）	永田委員長、若江会長（水俣芦北郡市）
		都道府県事務長事務連絡会（日歯会館）	澤田事務局長
		熊本歯科衛生士専門学院同窓会との懇談会	浦田会長
		第8回理事会 （1）平成23年度総務部門の事業計画案　（2）各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議　（3）熊本歯科衛生士専門学院設置運営規則の一部改定（案）使用規程の一部改訂（案）　ほか	浦田会長他前野副会長を除く全役員
	26日	（熊本県主催）学齢期歯科保健指導者講習会（菊池地区）（菊池地域振興局）	田中委員、荒木会長（菊池郡市）
		第26回九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本市国際交流会館）	中嶋副会長
		歯科医療に関する県議会議員との懇談会 条例の活用等についての意見交換会（熊本市）	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、宮坂常務理事、田上・松岡・大林・八木理事
	27日	九州各県事務職員研修会（至28日）（大分県歯会館）	澤田事務局長他3名
		東京歯科大学同窓会熊本支部懇親会（ホテル日航熊本）	小島副会長
	29日	労務管理打合せ	渡辺専務理事、西野常務理事、八木理事
		会務運営打合せ	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、西野常務理事、八木理事
	30日	平成22年度九州管区広域緊急援助隊合同訓練打合せ	前野副会長
		（熊本県主催）学齢期歯科保健指導者講習会（球磨地区）（球磨地域振興局）	向江会員、今藤会長（人吉市）、秋山会長（球磨郡）
		8020支援事業水俣・芦北郡市ワーキング委員会（水俣市）	川瀬委員長
	12月1日	第8回日歯対外PR小委員会（日歯会館）	浦田会長
		第7回日歯ホームページ企画小委員会（日歯会館）	浦田会長
		第7回日歯対内広報小委員会（日歯会館）	浦田会長

所管	日付	摘要	出席
総務	2日	学齢期歯科保健研修会（熊本市地区） 受講者:93名（会員18名、学校関係者25名、行政関係21名、幼稚園・保育園関係者6名、衛生士会18名、スタッフ4名、その他1名）	浦田会長、大林理事、清村熊本市歯会会長他1名
	4日	日歯警察歯科医身元確認及び災害コーディネーター研修会（日歯会館）	前野副会長、犬束委員
		第2回各郡市会長・専務理事連絡会議	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、西野常務理事、勇・八木理事
		県警察医会研修会（県警本部）	片山監事
		増田憲元会員日歯会長表彰受賞祝賀会（熊本市）	浦田会長
		新樹会忘年会（ニュースカイホテル）	浦田会長
	6日	第710回支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
	7日	副会長会議	浦田会長、小島・前野・中嶋副会長、渡辺専務理事
		第17回常務理事会 （1）医療倫理に関する会員への通知　（2）地デジボランティア活動協力依頼　（3）業界偉人特集一井正典氏広告掲載依頼　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、八木理事
	8日	セクシュアル・ハラスメントの防止に関するビデオ上映会（熊本地方裁判所）	前野副会長
	9日	県生活習慣病検診等管理指導部会（県庁）	田上理事
	10日	職員冬季賞与支給式	浦田会長、西野常務理事
		税理士法人ユース会計社新体制披露講演・パーティ（ホテルニューオータニ）	浦田会長、西野常務理事
	11日	鹿大歯学部同窓会県支部忘年会（熊本市）	浦田会長
		九州インプラント研究会25周年記念祝賀懇親会（ホテルキャッスル）	伊藤常務理事
	14日	8020支援事業上益城郡ワーキング委員会（御船カルチャーセンター）	宮坂常務理事、田上理事
	15日	日歯役員勉強会（日歯会館）	浦田会長
	16日	第10回日歯理事会（日歯会館）	浦田会長
	18日	月次監査　11月末現況監査	遠山・片山監事
	19日	九大歯学部同窓会県支部忘年会（熊本市）	浦田会長
	20日	第2回県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会保健福祉推進部会（熊本テルサ）	中嶋副会長
		支払基金審査委員懇談会（ホテルニューオータニ）	浦田会長
		第9回選挙管理委員会	福田委員長他全委員、渡辺専務理事、八木理事
		学齢期歯科保健指導者講習会反省会　（1）学齢期歯科保健指導者講習会フッ化物洗口に関するQ&Aの意見交換　（2）フッ化物応用に関する基本的な考え方	渡辺専務理事、宮坂常務理事、田上・大林理事他6名
	21日	県体育協会第2回財務特別委員会（ホテル日航）	浦田会長
		第18回常務理事会　（1）平成23年度各委員会予算（案）　（2）平成22年度介護者歯科実技研修事業会計収入支出予算（案）　（3）平成22年度一般会計収入支出補正予算（案）ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、八木理事
学術	11月20日	県糖尿病対策推進会議実務者研修会（天草地域医療センター）	牛島理事
	26日	学術小委員会　（1）全身疾患A4パネル作成	牛島理事他3委員
	27日	日本補綴歯科学会九州支部学術大会（1日目）	浦田会長、西野常務理事、牛島理事他2委員
		日本補綴歯科学会九州支部学術大会懇親会（KKRホテル）	浦田会長他6役員
	28日	日本補綴歯科学会九州支部学術大会（2日目）	西野常務理事、牛島理事、添島委員長他3委員
	12月4日	口腔医学国際シンポジウム（アクロス福岡）	牛島理事
	17日	学術小委員会　（1）歯周病と全身疾患パネル内容　（2）検査表	牛島理事他4委員
	18日	日歯生涯研修DVDセミナー及びCT撮影に関する研修会　受講者:72名（内、DVDセミナー受講者37名） 講師:ありよし歯科医院　有吉　洋　院長（熊本市歯科医師会会員）	浦田会長、小島副会長、牛島理事、添島委員長他4委員
社会保険	11月20日	電子レセプト請求届出手続き説明会 受講者数:61名	中嶋副会長、勇・前田理事、田中委員長他5委員
		社会保険個別相談　相談者:1名	勇・前田理事、田中委員長他4委員
	24日	保険個別指導（熊本テルサ）	渡辺・橋本・中村委員
	26日	社会保険委員会　（1）会員向け発行物　（2）個別指導立ち会い・個別相談会 （3）社保・学術講演会　ほか	前田理事、田中委員長他全委員
	12月4日	社会保険個別相談会　相談者:4名	田中委員長他5委員
	11日	九州歯科大学熊本県同窓会忘年会（熊本市）	勇理事
	18日	社会保険個別相談会　相談者:1名	田中委員長他1委員
地域保健	11月19日	県健康づくり県民会議（県庁）	田上理事
		地域保健小委員会	宮坂常務理事、田上理事
	20日	笑顔ヘルCキャンペーン無料歯科相談〔八代〕（やつしろハーモニーホール）	八代会員

所管	日付	摘要	出席
地域保健	12月1日	地域保健委員会	宮坂常務理事、田上理事、川瀬委員長他全委員
	3日	笑顔ヘルCキャンペーン反省会	宮坂常務理事、田上・加藤理事、立本広報委員長、小田地域保健副委員長他2委員
厚生・管理	11月22日	厚生・管理委員会　(1)卒後研修会「歯科衛生士の仕事は楽しい」反省・報告　(2)定期健康診断・医師会の実施企画書の検討　(3)平成22年度熊本国税局税務指導者協議会　ほか	竹下理事、池嶋委員長他5委員
	12月5日	県三師会剣道大会(熊本市)	竹下理事
広報	11月22日	広報小委員会　(1)会報12月号・第1回校正	加藤理事、立本委員長他4委員
	29日	広報小委員会　(1)会報12月号・第2回校正	加藤理事、立本委員長他1委員
	12月15日	広報小委員会　(1)会報1月号・編集	加藤理事、立本委員長他3委員
学校歯科	11月25日	県健康教育推進学校表彰審査会(県庁)	宮坂常務理事
	12月15日	第8回日学歯理事会(日歯会館)	渡辺常務理事
	16日	県PTA災害見舞金安全会判定審査委員会(県総合福祉センター)	西野常務理事
医療対策	11月19日	医療対策委員会　(1)事例報告・検討　(2)九州各県医療安全対策担当者会議　(3)玉名郡市医療対策講演会　ほか	片山理事、冨屋委員長他6委員、遠山監事
		医療対策小委員会　医療相談	前野副会長、原田委員
	26日	医療対策小委員会 (1)双方向コミュニケーションガイド№8　(2)口腔保健センターと歯科衛生士専門学院事故発生時フローチャートマニュアルの最終チェック	前野副会長、冨屋委員長他2委員、遠山監事
	27日	医療対策小委員会　医療相談	前野副会長、原田委員
	29日	医療対策小委員会　損害保険ジャパンとの打合せ	前田副会長、原田委員
	12月1日	医療対策小委員会　医療相談	前野副会長、原田委員
	2日	医療対策小委員会　(1)医療倫理　(2)日本歯科医師会倫理規範　(3)歯科医師法	前野副会長、岡田副委員長他1委員
	3日	医療相談　医療相談	片山理事、冨屋委員長
	9日	医療対策小委員会　歯科医師側からの苦情における対応	前野副会長、片山理事他2委員
	10日	医療対策委員会　(1)事例報告・検討　(2)県警による講演会　(3)双方向コミュニケーションガイド　ほか	片山理事、冨屋委員長他7委員、遠山監事
	14日	医療対策小委員会　医療相談(損保ジャパンとの打合せ)	前野副会長、原田委員
	16日	医療トラブル講演会　受講者:87名 不当要求に負けない為に!暴力団やクレーマーなどの撃退法	前野副会長、片山理事、冨屋委員長他5委員
	17日	医療対策小委員会　医療相談	前野副会長、原田委員
		医療相談　紛争事例についての相談	片山理事、冨屋委員長
	20日	医療対策小委員会　医療相談	前野副会長、原田委員
センター・介護	11月25日	センター・介護委員会	松岡理事、松本委員長他2委員
	30日	口腔保健センターカルテ・会計チェック	松岡理事
	12月2日	センター・介護委員会	松岡理事、松本委員長他5委員
	7日	口腔保健センター運営打合せ	松岡理事、松本委員長他5名
	8日	県介護実習・普及センター運営委員会並びに介護機器普及事業運営協議会(県総合福祉センター)	松岡理事
	16日	センター・介護委員会 (1)介護者歯科実技研修会　(2)障がい児口腔ケア地域リーダー育成事業 (3)障がい児歯科保健推進協議会　ほか	宮坂常務理事、松本委員長他4委員
	18日	介護者歯科実技研修会ワーキング委員会	宮坂常務理事、松岡理事、松本委員長他全委員
	19日	介護者歯科実技研修会 受講者:104名	宮坂常務理事、松岡理事、松本委員長他全委員
学院	12月8日	歯科衛生士養成校検討会(熊本市)	小島副会長、伊藤学院長他2名
	10日	秋期学術研修会／第1回日本歯科衛生教育学会(至11日)(京都)	野中・西口専任教員
	11日	学院臨床実習場反省会の打合せ　資料作成	前野副会長
	14日	学院解剖見学実習(福岡市)	伊藤学院長他2名
	15日	熊本市事業廃業物排出事業者立ち入り調査(学院校舎)	奥村課長、小原教務副主任
	20日	学院臨地実習指導担当者打合会(学院校舎)	伊藤学院長他2名
国保組合	11月25日	第5回国保理事会　(1)法令遵守(コンプライアンス)体制の整備　(2)組合員資格	浦田理事長他全役員
	12月3日	全協九州支部事務研修会(佐賀市)	田代主任、緒方書記
	8日	熊本県組合地区国保運営協議会役員研修会	浦田理事長他全理事
事業課	12月10日	損保ジャパン熊本支店役員との懇談会(熊本市)	浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、竹下理事、澤田事務局長
	21日	損保ジャパンとの打合せ	中嶋副会長、西野常務理事、竹下理事

社団法人 熊本県歯科医師会 会員のみなさまへ　2010年度

会員専用 グループ保険制度のご案内

Ⅰ. 団体定期保険（S51）（死亡保障プラン）会員・配偶者
＜災害保障特約（S51）＞

Ⅱ. 新医療保障保険（団体型）（医療保障プラン）会員・配偶者・こども
＜手術特約/家族特約/家族手術特約＞

グループ保険制度の7つの特徴

- お手頃な保険料で、死亡保障・入院保障を準備できます。
- 入院1日目から保障の対象となります。（医療保障プラン）
- 保険期間は1年で、毎年保障の見直しができます。
- 配偶者・お子様も会員ご本人とセットでお申込みになれます。
  ※団体定期保険（S51）は配偶者のみとなります。
- 医師の診査がなく、告知書の提出のみで簡単に申込みになれます。
- 団体定期保険（S51）・新医療保障保険（団体型）それぞれ剰余金があれば、配当金として還元されます。保険金・給付金のお支払状況等によっては配当金が0になる場合があります。
- 付帯サービス（健康コール24などのサービスを利用できます。）（医療保障プラン）

H21年度の配当金個人還元率は、（Ⅰ）団体定期保険より約40%、（Ⅱ）新医療保障保険団体型より約40%が加入者全員に還元されました。

申込締切日：毎月15日

保険期間：2010年8月1日（保障が開始する日）
～2011年7月31日

申込書提出先：熊本県歯科医師会　事務局

シャープ製
業務タイプ

高濃度プラズマクラスターイオン発生機

IG-820-W

IG-840-W

診療室・待合室におすすめです！

浮遊するアレル物質分解・除去、さらにカビ菌やウイルスの作用を抑える。

- ダニのふん・死がいの**浮遊アレル物質**を分解・除去。
- **浮遊ウイルス**の作用を抑える。（1m³の密閉容器での試験による10分後の効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。）
- **浮遊カビ菌**を除菌。
- **浮遊菌**の作用を抑える。（約10畳の実験空間で実証）
- **付着臭**を分解・除去。

〈浮遊アレル物質〉●試験期間：広島大学大学院 先端物質科学研究科●試験方法：掃除をしない実際の居住空間（約8畳）での浮遊ダニのアレル物質の作用をELISA法で測定。結果より当社にて換算し、平均値と残存率を算出。（プラズマクラスターイオン濃度：3,000個/cm³）●試験結果：4週間後にダニのアレル物質を抑制。

〈浮遊ウイルス〉●試験機関：イギリス レトロスクリーン・バイロロジー社●試験方法：1m³ボックス内にウイルスを浮遊させ、プラズマクラスターイオンを放出し、ウイルス除去率を測定。●試験結果：プラズマクラスターイオン濃度：7,000個/cm³の場合、約10分で除去率99.0%。●上記試験は、ある1種類のウイルスで実施。

〈浮遊カビ菌〉●試験機関（財）石川県 予防医学協会●試験方法：8畳相当の実験室にプラズマクラスターイオンを放出し、浮遊カビ菌をエアーサンプラーにて測定。結果より当社にて近似しグラフ化。（プラズマクラスターイオン濃度：3,000個/cm³）●試験結果：約195分で除去率99.0%。

〈浮遊菌〉●試験機関：米国 ハーバード大学公衆衛生大学院 名誉教授メルビン・ファースト博士●試験方法：約10畳の実験空間に菌を浮遊させ、その後、実験空間内の菌を回収し、空気中の菌除去率を測定。（プラズマクラスターイオン濃度：4,700個/cm³）●試験結果：約38分で除去率99.0%。

〈付着臭〉●試験機関：（財）日本紡績検査協会●試験方法：タバコのニオイを染み込ませた布片の脱臭効果を6段階臭気強度表示法にて評価。（プラズマクラスターイオン濃度：10,000個/cm³）※

国内・海外の多くの機関で、効果が実証されています。※

浮遊ウイルス	（財）北里環境科学センター	浮遊カビ菌	（財）石川県 予防医学協会	浮遊菌	ドイツ　アーヘン応用科学大学 アートマン教授
	韓国　ソウル大学		ドイツ　アーヘン応用科学大学 アートマン教授		米国　ハーバード大学公衆衛生大学院 名誉教授メルビン・ファースト博士
	中国　上海市予防医学研究院	浮遊菌	（財）石川県 予防医学協会		
	（学）北里研究所 北里大学北里研究所 メディカルセンター病院		中国　上海市予防医学研究院	付着臭	（財）日本紡績検査協会
	イギリス　レトロスクリーン・バイロロジー社		（財）北里環境科学センター	付着カビ菌	ドイツ　リューベック大学
浮遊アレル物質	広島大学大学院　先端物質科学研究科		（学）北里研究所 北里大学北里研究所 メディカルセンター病院		（財）日本食品分析センター
	大阪市立大学大学院　医学研究科　分子病態学教室				

※2000年10月～2010年8月生産のプラズマクラスターイオン発生デバイスの実証データです。同一実証機関、同一時期における別の対象有害物質による実証実験結果は割愛。

●プラズマクラスター技術には、浮遊ウイルスの作用を抑えたり、ダニのふん・死がいのアレル物質などを分解・除去する効果はありますが、これにより無菌状態が作られるものではなく、感染予防を保証するものではありません。●それぞれ実際のイオン個数や除菌※・浄化効果は、お部屋の状況（広さ・形状・エアコン・換気などの使用の有無、商品の設置場所など）や使い方（イオンの吹き出し方向・運転モードなど）によって異なります。　※浮遊ウイルス：1m³の密閉容器での試験による10分後の結果。浮遊菌：約10畳（約40m³）の実験空間での38分後の効果。試験結果は、実空間で同様の結果を保証するものではありません。

熊歯会　会員さま価格でご提案致します。

お問い合わせは

株式会社
OAテック

TEL　096-327-9588

熊本市高平3-9-47　Fax：096-327-9600　E-mail:info@oa-tec.co.jp

2 行事予定

1日(火)	第21回常務理事会
5日(土)	臨時総会
15日(火)	第11回理事会
20日(日)	厚生・管理講演会
22日(火)	第22回常務理事会

編集後記

皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年も読みやすい会報をめざし広報委員一同がんばります。また、このたび熊日新聞朝刊に歯科関係の記事を無料掲載することになりました。1月～3月の毎週金曜日に掲載されますのでぜひご覧下さい。　(H.K)

熊本県ご当地よ坊さん

8020 歯からはじめる 笑顔ヘルC

発行日／2011年1月15日発行
発行人／浦田　健二
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市坪井2丁目4-15
TEL　096-343-8020
FAX　096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷